

## 川崎義碩 先生

山梨県立甲府第一高校  
Kawasaki Yoshihiro社会をよりよく  
変えるために、  
今すべきことを

人は生まれる場所を選べないのに、なぜ、生まれた場所によって人生が左右されてしまうのか。高校時代、中国でのボランティア活動をきっかけにそうした疑問を抱いた私は、社会的流動性を高めるためには公教育が鍵になると考えました。教職に就いた今、生徒が将来、社会に主体的にかかわって活躍できるよう、どの教育活動でも、非認知能力の育成を意識しています。生徒が1日の気づきや家庭学習等を記録する「日々新」<sup>ひびあたら</sup>は、毎日クラス全員に提出させ、私が一人ひとりコメントを書いて返しています。日常生活の振

り返りの言語化を通じて、メタ認知能力や計画的実行力の育成を図るためです。

本校は昨年度から、「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受けました。社会に貢献できる世界的視野を持つてほしいと、担当

する英語の授業で、常識やルールが通用しない状況にどう向き合つかを考えられる異文化コミュニケーションの疑似体験ゲームを行っています。1年生は入学してまだ半年ほどですが、クラスに課題が見つかること、よりよいクラスにしようと自ら行動する生徒たちに頼もしさを感じています。

本校では、教師は普通科・探究科の区別なく授業を受け持ちます。赴任1年目の私も両科の授業を持ち、それぞれに適した授業づくりを模索しています。そうした中、放課後に行く中国人講師の中国語講座を、生徒に交じって受講し始めました。私の教師としての成長に加えて、生徒が英語以外の語学に関心を持ち、大人になっても学ぶ大切さを感じてくれることにつながればと思います。



生徒より

どんなに大きな目標でも応援してくれるのが、川崎先生です。読んでおくとよい本や学ぶべきことなどを、具体的にアドバイスしてくれま

す。「頑張れ」「あと少し」などと、「日々新」に添えられる一言も励みになっています。一緒に受けている中国語講座で、まだ習っていないフレーズを話す先生の姿から、目標達成後も新たなことに挑戦することの大切さを学びました。クラスがまとまってきた今、一人ひとりが主役になる学校づくりに、みんなが協力して取り組んでいきたいです。

かわさき・よしひろ 教職歴6年。同校に赴任して1年目。進路指導係、英語科。1学年担任。

山梨県立甲府第一高校  
全日制／普通科・探究科／共学／1学年約180人／2021年度入試合格実績（現役のみ）国公立大は、東北大、筑波大、千葉大、東京学芸大、東京大、山梨大、京都大、大阪大などに161人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ563人が合格。

お客様サービスセンター

フリーダイヤル 0120-350455 [受付時間] 月～金8:00～18:00/土8:00～17:00(祝日、年末・年始を除く)

株式会社ベネッセコーポレーション岡山本社 〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17